



# 東栄小だより



令和7年度重点教育 『自ら創る』

令和7年  
4月30日発行  
第1号

## 気持ちも新たに 新年度のスタート

校長 谷 越 秀 樹



温かな日差しが私たちの心も体も温めてくれる季節になりました。

子どもたちの願いが通じたのか東栄小のグラウンドの雪解けも順調に進み、4月の半ば頃から子どもたちは元気にグラウンドを駆け回っています。令和7年度の東栄小学校は新生57名を迎え、全校児童294名、教職員37名でスタートしました。

私は始業式で子どもたちに頑張してほしいことを伝えました。それは「**あいさつをしよう**」「**友だちとなかよく遊ぼう**」「**目標を決めよう**」の3つです。さらに、「**自分から先に行う**」ことを意識付けようとしてしました。自分から先に行うのには勇気が必要ですが、そのうちに慣れるものです。自分から先に行うことで仲間が喜んでくれたり、自分も嬉しい気持ちになったり、やる気が湧いてきます。

さて、新年度を迎えるにあたり、東栄小学校の教育についてお話をさせていただきます。本校の教育目標は、「**さとく ゆたかに たくましく**」です。本年度は「自ら創る」を重点目標に掲げ、教育目標の具現化に取り組んでまいります。

「**さとく**」とは、「**理解や判断が的確で早い**」という意味であり、**確かな学力の育成**におきましては、理解や判断の基となる知識をどのように習得させていくのか、教職員同士が互いに研鑽を深めながら授業改善に取り組み、「**互いの考えを認め合い、学び合う子どもの育成**」に力を入れていきます。

**豊かな人間性の育成**につきましては、児童会活動や学級活動などを通して「**互いのよさを認め合い、協力し合う子どもの育成**」を目指してまいります。

**健やかな体の育成**につきましては、「**互いの頑張りを認め合い、励まし合う子どもの育成**」を心がけながら、運動会などの体育的行事に取り組んでまいります。

「**自ら創る**」とは、学校と保護者・地域が一体となって「**子どもたちの未来を創り上げていく**」ことだと考えております。子どもたちが将来、自分の未来を切り拓いていくためには「**自ら考え、見通しをもって判断し、決定する力**」が必要となります。さらに、多様な人々と協力して社会的な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、

「**互いの考え方が違っていても、対話しながら協働していく力**」を身に付けていかなければなりません。私たち東栄小の教職員は、子どもたちが**自分のよさや可能性**に気付き、豊かな人生を切り拓いていけるよう「知」「徳」「体」をバランスよく育む教育活動を推し進めてまいりますので、今年度も保護者の皆様や地域の方々のご理解と協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 笑顔満開 入学式 ～57名の輝く東栄っ子たち～

4月8日（火）に57名の可愛らしい新1年生を迎えて入学式を行いました。ちょっぴり緊張していた1年生ですが、校長先生やPTA会長さんのお話をしっかり聞く姿が立派でした。また、1年生の紹介の時には全校児童に向かって「よろしくお祈いします！」と元気いっぱいあいさつをすることができました。保護者を交えての記念撮影ではやっとな緊張もやわらぎ、笑顔満開で入学初日を終えることができました。



## 新しい形でのPTA総会を終えて

4月18日（金）にPTA総会を開催しました。今年度は総会の内容を精選し時間短縮を図り、また、学年・学級懇談の時間をしっかり確保するため、体育館と教室をテレビ中継でつなぐ新しい形で実施しました。今年度も校外生活安全パトロールや学年レク、運動会、スキーなど、多くの教育活動でご協力をいただくこととなります。特に学年レクにつきましては、今年度よりお手伝いの保護者の方を中心に進めて参ります。

子どもたちの成長を共に実感できる活動になるよう連携を図って参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



## わかば教室を実施しました



4月22日（火）に1年生を対象に交通ルールを学ぶ「わかば教室」が行われました。交通安全指導委員の方から、信号の渡り方や歩道を歩くときの注意点についてのお話がありました。どの子も真剣にお話を聞く態度が見られ、安全な道路歩行への意欲を高めました。